

令和3年第3回北海道議会定例会 予算特別委員会（総括質疑） 開催状況（環境生活部）

開催年月日 令和3年10月6日（水）
 質疑者 日本共産党 菊地 葉子 委員
 答弁者 知事 鈴木 直道

質 疑 要 旨	答 弁 要 旨
<p>三 気候変動対策等について</p> <p>（一）気候危機に対応するための計画見直しについて 気候変動に対応するための計画の見直しについては、全庁の共通認識としていく必要があると考えます。 高い目標というぼんやりとしたものではなく、どれだけ減らさなければならないのかなど、達成目標に必要な具体的な数値を設定していく必要があると考えますがいかがか伺います。</p> <p>計画の実効性を高めるためにも、より具体的な指標や目標を持って取り組むべきことを指摘します。</p> <p>（二）気候危機への各部における取組について 各部審査で気候危機に対応した、目標・計画についておたずねしました。部ごとの対応と認識にかなりの差があることがわかりました。必要な指標や施策を示していると知事はこれまで述べていますが、各部ごとに必要な削減目標の設定をするべきと考えるが、いかがか伺います。</p> <p>（再質） 各部の計画についても見直す計画はありますか。</p>	<p>（知事） 地球温暖化対策推進計画の見直しについてであります。本年3月に改定した推進計画では、道の「省エネ・新エネ促進行動計画」や「森林吸収源対策推進計画」といった庁内の関連計画で掲げる数値目標、さらには、国の計画における分野別の目標排出量などを踏まえて削減目標を設定するとともに、庁内各部の施策なども盛り込み策定をしたところであり、</p> <p>今後、計画の見直しにあたっては、庁内の関係計画の見直しも踏まえて、上積み可能な分野とその目標値などの検討を行い、温室効果ガス総量の削減目標のほか、産業、業務、家庭、運輸など主な排出部門ごとの目標の設定や施策の進捗や排出量ごとの評価を補足するための取組補足指標も適宜設定し、計画の実効性をより高めてまいりたいと考えております。</p> <p>（知事） ゼロカーボンに向けた取組についてであります。 「地球温暖化対策推進計画」は、庁内に関係する「省エネ・新エネ促進行動計画」、「森林吸収源対策推進計画」、「クリーン農業推進計画」、「住生活基本計画」などの計画や目標、施策も盛り込み、取りまとめたものであり、その上で、産業、家庭などの部門ごとに削減目標を設定をしているところであります。</p> <p>道では、「気候変動対策推進本部」を設置し、庁内の連携及び施策の調整を図るとともに、あらゆる施策におけるゼロカーボンの意義への認識を深めながら、取組を進めているところであります。</p> <p>今後とも、全庁はもとより官民一体となってゼロカーボン北海道の実現を強力に推進してまいります。</p> <p>（知事） 関係計画についてでありますけれども、削減目標の設定に関する「省エネ・新エネ促進行動計画」や「森林吸収源対策推進計画」については、年度内を目途に見直しを進めることとしております。</p> <p>今後とも、より一層、庁内連携と施策の調整を図り、あらゆる施策、計画について「脱炭素」の視点を持ちながら、ゼロカーボン北海道の実現を目指してまいります。</p>